

団体名: あま市商工会

| 事業名         | 事業概要(背景・目的)   | 事業実績   | 主たる対象者        | 事業評価 |                            |      |      |      |                            |        |        |   |      | 備考 |            |      |               |     |    |     |       |   |
|-------------|---|--|---------------|------|----------------------------|------|------|------|----------------------------|--------|--------|---|------|----|------------|------|---------------|-----|----|-----|-------|---|
|             |   |  |               | 目標①  |                            |      | 目標②  |      |                            | 得られた効果 | ABCD評価 |   |      |    | 今後の展開・改善点等 |      |               |     |    |     |       |   |
| 巡回・窓口相談指導事業 | 小規模零細企業を中心に、職員が事業所へ訪問し、国・県の小規模企業施策の普及利用促進を図るとともに、窓口や巡回相談により経営力向上・経営革新など専門家派遣による支援、融資等の金融相談、申告時期の税務相談、労務相談等企業経営全般について様々な相談指導をすることにより経営基盤の強化を図り、地域経済の安定的発展を目指す。 | ・巡回窓口指導実企業数 785社 (巡回501社、窓口284社)<br>・巡回窓口指導延件数 1,547社 (巡回892件、窓口596件)<br>・課題解決提案件数 40件<br>・経営革新計画承認件数 1件   | 小規模事業者        | 指標   | 巡回窓口指導延件数<br>(達成度 171.9 %) |      |      | 指標   | 課題解決提案件数<br>(達成度 100.0 %)  |        |        | 小規模事業者の良き相談相手として企業の経営改善支援及び各種施策の活用を奨励することができた。企業診断等を提案し経営改善に繋げることができた。就業規則等労働に関する相談についても、現行の制度や規則に関する問題点の指摘と改善案を提示する等小規模事業者の方の知識を深めることができた。 | 総合評価 | A  | 事業実施側の     | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標②   | 今後も経済情勢に応じた相談指導を実施し一人でも多くの小規模事業者の支援ができるようニーズを掘り起こすことが必要である。職員間で情報を共有し効率的かつ重点的に巡回・訪問を実施していく。 |
|             |   |  |               | 目標数値 | 900                        | 実績数値 | 1547 | 目標数値 | 40                         | 実績数値   | 40     |   |      |    |            | A    |               | A   |    | 必要性 | 実施方法① |   |
| 記帳継続指導      | 個人事業主等を対象に正しい記帳方法の指導を行い、経理の自計化による計数管理と経営数値の分析による経営力の向上と適正な税務申告に結びつける。   | ・指導対象者数 125人<br>・指導延日数 832日<br>・指導延回数 2,277回   | 小規模事業者(個人経営者) | 指標   | 記帳指導延回数<br>(達成度 87.6 %)    |      |      | 指標   | (達成度 %)                    |        |        | 適正な税務申告と自計化に結びつき日頃から計数感覚を養うことが出来た。記帳機械化により記帳事務から解放されるとともに、得られた経営資料から自分で経営診断も出来、また今後の指導に繋げることができた。   | 総合評価 | B  | 事業実施側の     | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標②   | 例年決算指導を実施しているが、記帳指導は経営指導等その他の指導の端緒ともなる事業であり、適正な決算申告をしてもらうよう今後も継続して重点的な取組が必要である。             |
|             |   |  |               | 目標数値 | 2,600                      | 実績数値 | 2277 | 目標数値 |                            | 実績数値   |        |   |      |    |            | B    |               | B   |    | 必要性 | 実施方法① |   |
| 講習会事業       | 多様化する経営環境に対応するため、小規模事業者にとっての必要な経営、経理、金融・労働・税務等の知識習得や時事的な問題についての啓蒙を図り、事業者の資質の向上と事業運営に資することを目的とする。また、時代のニーズにあった雇用関係を含めた労働問題に対応する。                               | ・個別講習会<br>開催回数 23回 参加者人数 315人<br>・集団講習会<br>開催回数 7回 参加者人数 82人<br>計 30回 397人   | 小規模事業者        | 指標   | 個別講習会参加者数<br>(達成度 78.8 %)  |      |      | 指標   | 集団講習会参加者数<br>(達成度 136.7 %) |        |        | 知識の習得や資質向上に繋がった。ビジネスマナー講習会では異業種間での交流ができたこと、日頃の業務の再確認をすることができ、従業員の知識の向上に繋がった。  | 総合評価 | B  | 事業実施側の     | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標②   | 今後は巡回等により事業者の声に傾聴しニーズに合った講習会の開催に努める。集団講習会の内容や周知方法を今後検討する。                                   |
|             |   |  |               | 目標数値 | 400                        | 実績数値 | 315  | 目標数値 | 60                         | 実績数値   | 82     |   |      |    |            | A    |               | B   |    | 必要性 | 実施方法① |   |
| 青年部・女性部事業   | 青年部・女性部での交流や社会活動を通じて地域とかかわりを持つことにより、地域社会の発展に寄与するとともにこれからの地域社会を担う人材を育てる。   | ・青年部事業<br>総会 30名<br>防犯啓発運動 20名<br>あまコン 50名<br>サンタクロース事業 56名<br>各種事業参加人数 156人<br>・女性部事業<br>総会 25名<br>ボウリング 8名<br>視察研修 18名<br>イルミ点灯式 11名<br>フラワーアレンジ 28名<br>切手取りまとめ 10名<br>各種事業参加人数 100人 | 青年部員<br>女性部員  | 指標   | 青年部事業参加者数<br>(達成度 156.0 %) |      |      | 指標   | 女性部事業参加者数<br>(達成度 117.6 %) |        |        | 各種事業の企画、運営を通じて企画力、事業遂行能力など青年経営者として必要な資質を身につけることができた。商工業に携わる女性として必要な教養、資質の育成に繋がった。   | 総合評価 | A  | 事業実施側の     | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標②   | 今後も今まで通り事業を実施し、より良い青年経営者づくりと経営者夫人としての必要な教養育成に努めていく。   |
|             |   |  |               | 目標数値 | 100                        | 実績数値 | 156  | 目標数値 | 85                         | 実績数値   | 100    |   |      |    |            | A    |               | B   |    | 必要性 | 実施方法① |   |
| 部会・委員会事業    | 商業・工業などの各部会活動を行い、部会参加企業の発展に資することを目的とする。   | 講演会等参加者 0名   | 商業・工業部会<br>員  | 指標   | 講演会等参加者人数<br>(達成度 0.0 %)   |      |      | 指標   | (達成度 %)                    |        |        | 当初予定していた研修が参加者不足もあり中止になったため、実績をあげることができなかったが、商工祭において商業・工業部会として企画を立て、実施することができた。   | 総合評価 | C  | 事業実施側の     | 自己評価 | 調査結果<br>事業者への | 満足度 | 補足 | 目標① | 目標②   | 翌年度から研修等の計画を変更するため、目標等を下げるが、新たな講習会及び研修会を企画する。   |
|             |   |  |               | 目標数値 | 50                         | 実績数値 | 0    | 目標数値 |                            | 実績数値   |        |   |      |    |            | D    |               | D   |    | 必要性 | 実施方法① |   |

※ 経営発達支援事業として認定を受けた事業については、備考欄に○を付しています。  
 ※ 事業評価欄において、1つの事業で目標が2つある場合、目標達成度の評価は2つの平均となります。  
 ※ 記載内容についての詳細資料は、各団体において整備しています。



